

# つなぎあつて元気に

16

2009 春号

## 凍える春

～ 拡がる雇用不安、生活不安～



暖かな陽ざしを待ちかねていた花々が  
いつせいに咲き出しました。本格的な春の訪れです。  
しかし、希望の新年度も、企業の大量リストラ・操業休止・  
廃業が次々に発表される本市では、雇用不安・生活不安が多方  
面に拡がり凍りついています。

市では緊急雇用対策の窓口を設置し、また、国の緊急対策を  
受けた雇用対策8事業を創出していきます。(雇用は三十一人)  
しかし、三月議会で提案された今年度予算は、昨年の健全化  
計画の数値優先、一律削減で、この危機から何としても市民生  
活を守るという市長の決意が残念ながら感じられません。

さらに、国からも、今求められている基本的な課題  
解決への道筋が明確に示されません。例えば、  
大企業を優遇し、外需・輸出に頼ってきた

産業構造の見直しを図ること  
地域の再生のため地方分権を推進し、権限  
と財源と地方に移し、地域の元気を取り戻す  
こと

低賃金で、人をもののように使い捨てるよ  
うな働かせ方を認めてきた制度を抜本的に改  
革すること

取り組みの遅れが日本経済の立ち直りを遅らせ  
ているとも言われています。

しかし、所詮このような改革は現与党政権には無理な

ことで、一刻も早い**国民を向いた政治の実現**が望まれます。  
来たる衆院選挙では与野党逆転に向け精一杯頑張ります。



## 三月議会 終了

2月19日から3月24日までの日程で第4回定例会  
が開催されました。

### 今議会で審議された主な内容

#### 2月補正予算

- ・ 定額給付金費 21.2億円(3月末に市から通知)
- ・ 子育て応援特別手当 7530万円
- ・ 小中学校耐震化(大正小、松原中、米生中)
- ・ 緊急雇用対策事業(8事業) 5400万円

#### 平成二十一年度予算(505億円)

- ・ 前年度と比べ1.8%減(9.4億円減)
- ・ 学校体育施設有料化 (護憲は反対しかし可決)
- ・ 市の体育施設使用料値上げ (護憲反対しかし可決)
- ・ 市議会中継システム(6月議会より)
- ・ わくわくシティ基金条例廃止 (反対多数 否決)
- ・ 母と子のきずな講座休止
- ・ 妊婦健診助成(2回 国の補助決定により14回)

### 平山光子 三月議会で一般質問

財政健全化計画(平成二十三年度までに累積赤字をな  
くすというもの)に固執した予算ではなく、急速な景気  
悪化・生活不安に対応して「市民生活の安心」と「まち  
の未来を支える人づくり」のために必要な施策は充実し  
ていくべきと訴えました。(詳しくは裏面に)

**平山光子後援会**

事務所  
大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661

自宅  
大牟田市倉永1651  
0944-58-1252

メールアドレス  
mitsuko2007@tng.bbq.jp

ホームページ  
www.hirayama-mitsukonet





## 3月議会で 一般質問を行いました

**平成21年度予算案（更なる歳出削減・市民負担増）が提案されました。**

世界経済は100年に一度といわれる危機に直面しています。日本でも急速に景気が悪化し生活不安が広がっています。大企業は莫大な内部留保を持ちながら大量のリストラを発表しました。低賃金で働かせ、人をもののように使い捨てるモラルのない企業や、規制を緩和しこのような労働条件を認めてきた与党政治の責任は大きく、早急の見直しが必要でです。

本市でも急速に悪化する雇用状況に、市内には不安の声があふれています。しかし、大牟田市の21年度予算は、多くの自治体が市民生活の安心や雇用対策のために積極予算（前年度より予算増）を示す中、昨年夏に策定した財政健全化計画に固執した、一律一割削減の緊縮型です。

まちの未来を見据えて、必要な予算は充実するべきではないかと、次のように質問しました。

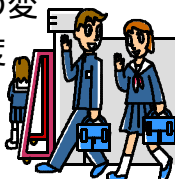
### 1. 景気悪化と市民生活

#### (1) 市長の政治姿勢

まちの将来を見据えた施策や市民生活の安心のために必要な予算は充実するべきではないか。市政運営の重点施策に挙げながら次年度の子育て支援の事業「母と子のきずな講座」が休止される、見直すべきではないかと市長の見解を求めました。学童保育所も早急に全校区に設置する必要があることを訴えました。

#### (2) 子どもの学び・育ちへの影響

子どもの健やかな成長は、親の願いであると共にまちの発展への未来投資でもあります。家計の悪化で高校進学や就学が難しい子どもが増えているということです。国や県の奨学金制度の存在、生活保護世帯の授業料納入制度の変更の周知徹底、就学援助制度の周知と個々の事情に配慮した運用を求めました。



### 2. 教育問題

#### (1) 複式学級の懸念

複式学級の心配が生じています。他市では非常勤講師を置いたり小規模特認校制度などを導入して支援しています。本市の対応を尋ねました。県へ加配教員を求めているとの答弁でした。

#### (2) 特別な支援を要する子どもの支援

不登校や引きこもりは大きな社会問題になっています。不登校の原因は様々ですがその一つに発達障害への無理解があげられます。本市の不登校の実態と支援体制を尋ねました。本市は全国平均より多く大変厳しい状況です。不登校や発達障害への支援体制の充実を訴えました。

#### (3) 子どもと向き合う時間確保

子ども達を取り巻く環境悪化が懸念され、学校では一層きめ細やかに対応することが必要です。病休休職など教師が疲弊している原因を把握し、子どもとしっかり向き合えるよう改善することが大切です。今年度の教職員の勤務時間の把握から見える問題点と次年度の具体的な改善点を尋ねました。

**県政・市政報告会 3月29日(日) 午前10時~12時 三池地区公民館**  
どなたでも自由にご参加いただけます。ご出席をお待ちしております。

# つなぎあって元気に

17

2009 春号

## 一月～三月の活動から

福退教旗開きで野田氏を激励  
(1月20日)



次期衆議院議員選挙、福岡七区の予定候補野田国義さんがお祝いに駆けつけられました。福退教大牟田支会の会長草場壽逞先生から野田さんに「野田国義奮い起つ」と題する祝詞が贈られました。



おっぱい教室最終回(3月23日)

納得できない母と子の絆講座の休止  
本市で遅れていた妊婦健診の助成も、国の財政措置(二年間の時限ですが)が発表され他市にそえて十四回まで無料化されることになりました。これで未受診や飛び込み出産はなくなると思われます。しかし、他市が予算を増額し、子育て支援策をさらに充実する中、大牟田市では予算の削減で事業が一部休止されることになりました。現場を取材し3月議会で取り上げました。柳川市・筑後市では次年度も継続されます。



市政報告会(1月31日)



教育問題について特別報告いたしました。教育制度の変遷や学校現場の状況、子ども時代には土台作りが大切、そのための三つの間(時間・仲間・空間)が奪われていることが随分以前から指摘されていること等を話しました。

### 平山光子後援会

#### 事務所

大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661

#### 自宅

大牟田市倉永1651  
0944-58-1252

#### メールアドレス

mitsuko2007@tng.bbq.jp

#### ホームページ

www.hirayama-mitsukonet



### 子育て支援の広場(平成二十一年度行われる事業)

ママと赤ちゃん 集まれ

つどいの広場(0～3歳)フレンズピアおおむた(火・金)

ママのほっとスペース(0～5ヶ月未満)保健所(月1回)

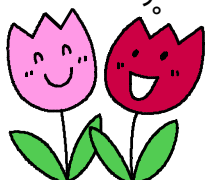
赤ちゃん広場(5ヶ月～1歳未満)保健所(月1回)

残念ながら親と子のきずな講座(おっぱい教室)は休止されることになりました。

離乳食教室やベビーマッサージ教室も行われます。電話による育児相談もあります。

(詳しくは児童家庭課 母子保健担当へ)

41-2661





# 光子の部屋

2009春号



## 哀悼 石橋保則 県議会議員

二月二日夜、突然の訃報、信じられませんでした。快方に向かつておられるとばかり思っておりまして。その日の夕刻までメールで相談に答えていただいておりましたから、お身体お辛かったですように、  
**謹厳実直、誠実**  
 そんな言葉がぴったりの方でした。



**人に優しい社会の実現**、県議が望んでおられた変革を確認されず逝つてしまわれさぞ心残りに思っておられることでしょう。私たちは県議の志を受け継ぎ、頑張っていくことを誓いました。

石橋県議、本当にありがとうございました  
 どうぞ安らかに眠り下さい



2008.1 お元気だった  
 昨年の大牟田支部旗開き

誰にでもいつも親身に接しておられました。私も、県に何度か資料請求などの話をつないでいただきました。  
 そして県議は何より地域の**今後を見据え、先頭に立って動いて**おられました。  
 優しく温かい方で心から頼りにしておりました。



2007.3 トップ当選に  
 沸き上がる選対事務所

## 教育NOW

大牟田市の平成21年度 教育予算 28億 546万8000円に

～さらに削減( - 約2億6400万円) 20年度6% H21年度5.6%(当初予算)

今年度予算も歳出の一律一割削減の結果、教育費は市長公約8%とは程遠いものになりました。

今でも大牟田市の教育予算は大変少なく、学校施設の老朽化などにも対応が十分できずにいます。他市では少人数指導のための教員や特別支援員の全校配置などを市費で行っていますが大牟田市では実現していません。また、教材費などの保護者負担も大変大きい状況です。次年度はさらに削減され、小中学校の管理費、運営費共に大幅に削減されることになりました。不登校や発達障害を支援する適応指導教室や通級教室の予算も削減されています。こんなことで大牟田の将来は大丈夫なのか、**予算特別委員会**で、市の厳しい財政状況は分かるが、未来ある子ども達のために市教育委員会はしっかりと**教育予算を確保**すべきと要望しました。

### H21年度 教育予算 の中から

(前年度比)

小学校費	10億3156万円(-2億5472万円)
光熱水費	1億902万円(-899万円)
教材費	2672万円(-1105万円)
中学校費	3億3913万円(-1172万円)
光熱水費	3336万円(-63万円)
教材費	2064万円(-856万円)
特別支援学校費	6599万円(+18万円)
光熱水費	404万円(+39万円)
教材費	281万円(-119万円)
適応指導教室運営費	638万円(-67万円)
通級指導教室運営費	36万円(-30万円)